

学校だより

学校教育目標：地域とともにある学校をつくる

学校と地域がいっしょになって、
ともに子どもを育てると意識が高まる学校をつくろう

3年生 修学旅行

5/15（金）～17（日） 沖縄方面

今年石橋中学校では初めて、沖縄へ行きました。47期生の修学旅行の目標は、『沖縄の文化に触れ、お互いを尊重し、戦争と平和への理解を深めよう』でした。



初日 平和学習

朝早かったにもかかわらず伊丹空港に元気に集まった生徒の表情からは、わくわくする気持ちが伝わってきました。初めて飛行機に乗る人もいたのか、飛行機が離陸・上昇するときには「ワー！」「キャー」と声が出ていました。友だちとおしゃべりをしたり、早めのお弁当を食べたりしていると、あっという間に那覇空港に到着です。沖縄は梅雨に入っていたこともあり天気を心配しましたが、3日間を通していいお天気でした。

那覇空港到着後、平和学習のためにガマに向かいました。ガマとは戦時中、住民や日本軍の避難場所となった場所です。最初に内部が見学できるガマに向かいました。内部は真っ暗で、ほとんど平らなところはありません。次に、全員が助かったガマと、多くの方が亡くなったガマを訪れました。多くの方が亡くなったガマでは、現地の語り部の方に当時の様子を中心に教えていただき、生徒全員で折った千羽鶴を奉納しました。戦争と平和についてじっくり考える時間となりました。



2日目 コザフィールドワーク・自然体験・学年レク

アメリカの嘉手納基地のあるコザの街のフィールドワークでは、沖縄が戦後アメリカの占領下であった時代から現在まで、コザの街がどう歩んできたのかを現地のガイドさんに案内して



いただきました。戦争が終わっても、その影響が今でも残っていることに初日は違う面から考えることができました。

午後は、自然体験です。マリンスポーツ、イノー体験、サトウキビ収穫の中から選択することができます。生徒たちは沖縄の自然の中で自分の選んだ体験を思いっきり楽しんでいました。



そして、一日の締めくくりは学年レクです。レク係の考えてくれた楽しい企画に、生徒たちの笑い声や応援の声が続けられました。

3日目 国際通り班行動

最終日は国際通りでの班行動です。家族や友人へのお土産はもちろん、自分へのお土産をうれしそうに買っていました。お土産探しの合間に沖縄ならではの昼食をおいしそうに食べている姿もほほ笑ましかったです。暑かったので、アイスを食べている生徒も多かったです。



目標通り、みんなが気持ちよく過ごせるよう47期生全員が協力し合い、思い出に残る3日間となりました。

1年生 自然学舎



5/26（火）27（水）兵庫県八チ高原

今回の自然学舎のスローガンは、「豊かな自然で仲を深めてつながろう～協力・考動・感謝～」です。いろんな場面で協力し合い、場面に応じて考え行動し、自分たちのために動いてくれるすべての人に感謝の気持ちを伝えることを目標にしています。

生徒たちは、バスレクで盛り上がり、八チ高原に到着した後は、草原の中でクラスごとに集まり昼食をいただきました。昼食後のオリエンテーリングは、チェックポイントに用意された課題を班のみんなで声をかけ合いながら克服し、笑顔でゴールすることができました。夜は、学年レクレーションをクラスみんなで楽しみました。

2日目朝、生徒たちは少し眠そうでしたが、自分たちで作ったカートンドックを「おいしい！」と笑顔で食べていました。

自然学舎のスローガンを全員が意識し行動でき、クラス・学年のつながりが深まる行事となりました。



よのなか科

今年も石橋中学校では「よのなか科」に取り組みます。この取り組みは、生徒とおとな（職員・保護者・地域の方）が一緒になって、「よのなか」の出来事を考え・意見交流をしていくものです。今年は各学年年に6回実施予定です。2回目は下記のとおりです。

○6月10日（水） 2年 究極のポテトチップスをつくろう

○6月19日（金） 3年 修学旅行を終えて、基地問題について考える

○6月25日（木） 1年 ケータイ・スマホの付き合い方を考える

※時間は、各回2時30分から（約60分間）

保護者の方、地域の方のご参加をお待ちしています。参加していただける方は学校までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

